

ニューイヤーコンサート 2017

NEW YEAR CONCERT 2017

“名曲で綴る新春の贈りもの”

プログラム

チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」より
“行進曲”、“金平糖の踊り”、“花のワルツ”

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調op.18

チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調op.64



T. SHIMONO



Y. YOKOYAMA



YOMIURI NIPPON SYMPHONY ORCHESTRA

全席指定 S=¥4,000 A=¥3,000 B=¥2,000 (消費税込)

お申し込み・お問い合わせ：

リリア・チケットセンター ☎ 048-254-9900 (10:00~19:00)

インターネットでのお申し込み：<http://www.lilia.or.jp>

●チケットぴあ pia.jp/t ☎ 0570-02-9999 (Pコード: 308-956)

●イープラス <http://eplus.jp>

主催：(公財)川口総合文化センター・リリア

2017年1月15日 [日] 午後3時開演 川口リリア・メインホール (JR川口駅西口直結)
指揮…下野 龍也 ピアノ…横山 幸雄
管弦楽…読売日本交響楽団



ストリート・オルガン：リリア所蔵

NEW YEAR CONCERT 2017

“名曲で綴る新春の贈りもの”

■ 下野 竜也 (指揮)

Tatsuya Shimono (Conductor)

2006年11月から13年3月まで読響の初代正指揮者を務め、現在は首席客演指揮者。読響とともに交響曲全曲を取り上げたことで注目されたドヴォルザークのスペシャリストであり（日本人指揮者初の快挙）、邦人作品への造詣も深い。

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院で学んだ後、大阪フィルの指揮研究員となり朝比奈隆氏ら巨匠たちの薰陶を受けた。文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーン国立演劇音楽大学に留学中、2000年の東京国際音楽コンクールと01年のブザンソン国際指揮者コンクールで

優勝を飾った。

国内の主要オーケストラはもとより、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ローマ・サンタチエチーリア管などと共に演し、国際的に活躍するほか、上野学園大学教授として後進の指導に当たっている。また、出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、齊藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門奨励賞など受賞も数多い。14年9月には読響とカレル・フサの「この地球を神と崇める」を日本初演し、読響をミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞に導いた。

■ 横山 幸雄 (ピアノ)

Yukio Yokoyama (Piano)

1990年ショパン国際コンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞し、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多の賞を受賞。ショパン生誕200年を迎えた2010年に、ポーランド政府より、ショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で100名の芸術家に贈られる「ショパン・パスポート」が授与される。同年「ショパン・ピアノ・ソロ全166曲コンサート」を行い、ギネス世界記録に認定された。2011年には全212曲を演奏し、自らの記録を更新。

2013年「ベートーヴェン・プラス」をスタート。2015年ラヴェル生誕140周年記念全曲演奏会をパリで成功させる。

CDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際F.リスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄えある賞を受賞。近年リリースされた「プレイズ・リスト

2013」、「プレイズ・シューマン2014」を、そして「プレイズ・モーツアルト2015」（ソニー・ミュージックダイレクト）は、いずれも「レコード芸術」の特選盤に選ばれる。

2016年デビュー25周年を迎える。

TOKYO FM「横山幸雄のピアノでめぐり逢い」のパーソナリティをつとめ、東京と京都にレストランをオープンし音楽と旬の食をプロデュースするなど、活躍は多岐にわたる。

現在、上野学園大学教授、エリザベト音楽大学客員教授として、後進の指導にも意欲的にあたっている。

横山幸雄オフィシャル・ホームページ <http://yokoyamayukio.net/>

■ 読売日本交響楽団

YOMIURI NIPPON SYMPHONY ORCHESTRA

読売日本交響楽団は1962年、オーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。

アルブレヒトやスクロヴァチエスキなど、世界的なアーティストが歴代の常任指揮者を務めている。2010年4月、第9代常任指揮者に現代フランスを代表する巨匠シルヴァン・カンブルランが就任し、日本を代表するオーケストラとして活発なコンサート活動を行っている。2015年3月には、12年ぶりとなる欧州公演をカンブルランの指揮で行い、読響の実力を欧州の地に刻印した。9月にはカンブルランが音楽総監督を務めるシュトゥットガルト歌劇場の専属歌手らとワーグナーの楽劇「トリスタンとイゾルデ」を演奏会形式で行い、音楽関係者などから高く評価された。

現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京・赤坂のサントリー

ホールでの定期演奏会を軸に充実した内容の演奏会を多数開催している。

こうした演奏活動のほか、社会貢献活動として、公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業に協力する「ハートフル・コンサート」を続けるとともに、小中学校での「フレンドシップ・コンサート」も手掛けている。また、中規模ホールにアンサンブルを届ける地域密着型の「サロン・コンサート」やアマチュアオーケストラの支援活動など、音楽文化のすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

《定期演奏会》などの様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送されているほか、インターネットの「日テレオンデマンド」でも動画配信され、好評を博している。

ホームページ <http://yomikyo.or.jp/>

《次のことをあらかじめご了承の上、チケットをお求めくださいませ》

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲目が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
- ②いかなる場合も再発行はできません。紛失などには十分ご注意ください。 ③未就学児の同伴はご遠慮ください。また、ご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ④全指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。
- ⑤場内での写真撮影・録音・携帯電話などの使用は、固くお断りいたします。